事業名	JET青年交	流推進事業		事業期間	昭和 62	年度~平成	年度	上位の 担当課・		地域を活性 国際政策課	化する国際を	交流の推進		
[目的、現料	伏・課題]													
L 44	対象 国際	交流団体、企業			TH 4 1/7 → → 田田宮	県の国際	化施策を実施	直するうえで	、日本と野	母国の言葉、文	化を理解す	るとともにア	高度な知識と	: 通訳、翻訳
目的	意図 国際	化の推進を図る			現状・課題	技術を有す	る人材が必要	見だが、確保	できていた	ない。	, , ,			_,, ,, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
[事業の実施	施状況]												(肖	单位:千円)
	活動名			活動内容			執行形態	事業主	<u></u> 体	コスト	20年度	21年度	22年度	23(予算)
朴国青年の 打	招致	英語、中国	国語、韓国語圏	の国際交流	員3名を招致	•	直接実施	県		総コスト	21, 425	17, 875	16, 217	17, 114
										事業費	18, 425	14, 875	13, 217	14, 114
									ŀ	うち一般財源 人件費	18, 337	14, 826 3, 000	13, 152 3, 000	14, 114 3, 000
									ŀ	職員数(人)	3,000	0.30	0.30	0.30
5 1.20	- 44.7													
[事業の成	果等」										車業(の実績	且纵	4月標
								指	標名(単位	立)	21年度	22年度	目標値	目標年度
事業の成果		県時の通訳や、国 養うための講座開					活動指標	JET青年打	召致数(人))	3	3	3	2 5
	の国际恐見を	食りにめり神座所	11性又扱なこを思	担し、平界の	/国际化に前	子した。								
	指標。	名(単位)	達成度	20年度	2 1 年度	22年度	23年度	最終達成 (25年度)	評価			備考		
成果指標			目標値	100	110	120	130	130						
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	翻訳・通詞	訳依頼数(件)	実績値	112	128	130			達成					
			達成率	112.0%	116.4%	108.3%								
	する必要性]													
.,	の視点	検証結果	Ý	舌動根拠						説明				
	・民間団体と を踏まえ、県 が必要か	県による 実施が必要		なし				と企業の経済 室が必要であ		友援など、専門	性を有する	県の海外戦闘	格等への積極	返的な活用を
[実施方法の	の効率性]													
	の視点	検証結果			2年度まで						生指標		左の計算式	

「総合評価〕

事業の簡素化、実施方法

の見直し(業務の民間委

託など)を図っているか

図っている

(拡大困難)

	Î⇒+ 15. m 11.	
方向性	現状維持	方向性の判断理由 海外戦略にも積極的に参画し、継続して国際交流事業を行うことが重要であるため
改善計画等	・23年度は国際交流員の活用分野を拡大(全庁的な取り組みである海外戦略に積極的に参画させ、効果的な施策立案及び実施に活用

・21年度に国際交流員(米国2名、韓国1名、中国1名)の業務を効率性の観点から見直 20年度

し、国際交流室と国際交流プラザに配置していた国際交流員を兼務させることで英

語圏の交流員を2名から1名に減員

総コスト

成果指標の実績値

22年度

千円/件

125

191

千円/件

事業名	外国人留学生	支援事業		事業期間	平成 4	年度~平成	年度	上位の担当課・	施策名 局・室名	地域を活性(国際政策課	化する国際を	で流の推進		
[目的、現場	<u>・</u> よ・課題〕			•	l			177 71 KK	76, 至有	占外及水体				
目的	対象 外国	人留学生			現状・課題	外国人留 経済的に余	学生と地域が裕がなく、こ	が交流するこ アルバイトを	とで、地域の	の国際化や活 ため、交流時	性化、経済間の確保が	発展が見込る難しく、地域	まれるが、私 或との交流が	費留学生 十分にで
	意図 地域	との交流の促進を	を図る			ていない。								
[事業の実施	色状況]													位:千円
3 3/4 A 1.71	活動名		E det	活動内容			執行形態	事業主		コスト	20年度	2 1 年度	22年度	
受学金交付事 12日 (数字/12)			月額21,000円			17.1.)	直接実施	県		総コスト	46, 090	37, 246	37, 316	38, 28
民健康保險	食料補助事業	国民健康	保険料負担額	の3分の1以内	を補助(1,1	17人)	間接補助	大学コンソ [・] おおいた	ーシアム	事業費うち一般財源	43, 090 35, 243	34, 246	34, 316 25, 038	35, 28 26, 00
								\$3\$3V ·/C		人件費	3, 000	24, 968 3, 000	3,000	3, 00
									暗	(人) (人)	0. 30	0, 30	0.30	0. 3
	D ArAr 7													
事業の成界	尺等 」							I .		. 1	事業0	つ宝績	最終	日趰
		、短大等で学ぶ督	四学生粉け 人	口あたり日フ	木 一であり	図学生が学		指	『標名 (単位	()	21年度	22年度	目標値	目標年
事業の成果	業に専念でき	、	ことで、大分〜	の愛着心を	東成し、将来 譲成し、将来	■ サエバー そ、大分県と	活動指標	奨学金支給	者(人)		139	140	140	2 5
,,,,,,,,,	出身国との架	け橋として活躍す	けるきっかけつ	がくりとなった	Ž.			国民健康保持	険料補助者数	数(人)	1, 258	1, 117	1, 200	2 5
	指標名	名(単位)	達成度	20年度	2 1 年度	22年度	23年度	最終達成 (年度)	評価			備考		
成果指標			目標値	3, 500	4, 200	4, 200	4, 200	(年度)						
从不1日/示	県内在住の	留学生数 (人)	実績値	3, 965	4, 147	4, 198	_,		概ね達成	昨年度までは			l/1現在) Ĕ結果(5/1琲	1 <i>+</i> -\
			達成率	113. 3%	98. 7%	100.0%				半年度から	口平子生又位	反機件の前角	[桁米 (5/15	出土)
県が実施す	トる必要性]													
	の視点	検証結果		活動根拠						説明				
	・民間団体と を踏まえ、県 ぶ必要か	NPOとの 協働が可能		なし				こ留学しやす 体的な実施が		内留学生が学 。	業に専念で	きる環境づく	くりのため、	経済的支
[実施方法の	 D効率性]		•			•								
	の視点	検証結果		2	2年度まで	の主な効率化	との取組状況			効率性	性指標		左の計算式	
	比、実施方法	図っている		学金交付申請		- 1				20年度	22年度		総コスト	
	養務の民間委 図っているか	(拡大困難)	・国民健康保	:険料の補助事	事業は大学コ	ンソーシア	ムおおいたり	工間接補助		12 千円/人	9 千円/人	成	/ 果指標の実績	幊
[総合評価]														
方向性	現状維持			方向性の						に積極的に活		、継続的なま	支援が必要な	ため
		動に関する論文を			青時に加え、	中間時点及	び年度末に	た提出させる	ことで奨学	生の参加意識	を高揚			
女善計画等	1・堂学生を県	の施策に積極的に	こ活用する方策	を検討										

事業名	留学生高	度人材育成事業		事業期間	平成 21	年度~平成	2 2 年度		施策名 局・室名	地域を活性 国際政策課	化する国際な	交流の推進		
[目的、現	状・課題〕													
- //	対象	県内就職を希望っ	する外国人留学生		II	留学生の	県内就職には	ナビジネスマ	・ナーの習得	身やビザ取得な	どの特有の	問題があり	また 企業	側の理解不
目的	意図	県内企業への就り	識の促進を図る		現状・課題					り県内企業への			5/C(II./	(M, -> - <u>-</u> /1 1
[事業の実	施状況]												()	i位:千円)
2 7 7 1 7 7 7	活動名			活動内容			執行形態	事業主	主体	コスト	20年度	21年度		2 3 (予算)
ビザ取得等	相談窓口の	設置 留学	生の雇用や在留資	格変更に関す	トる相談窓口(の設置	全部委託	県		総コスト		6, 169	4, 365	
			託先:行政書士							事業費		3, 169	1, 365	
ビジネスマ	ナー講座の		のビジネスマナー			ス基礎講座	全部委託	県		うち一般財源		3, 169	1, 365	
		を実	施 委託先:大学	コンソーシア	プムおおいた					人件費		3,000	3,000	
										職員数(人)		0.30	0.30	
[事業の成	果等]									LX	事業(の実績		目標
	在 留資	格に関する各種は	目談に応じること~	で留学生の就	職にかかる特	F有の問題を		指	f標名 (単位)	立)	2 1 年度	2 2 年度	目標値	目標年度
事業の成果			E業のビジネスマラ					ビザ取得等	相談数(件)		44	55		
)除くことができ7					ビジネスマ	ナー講座実	施回数(回)	2	1		
	<u> </u>	上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上	達成度	20年度	21年度	22年度	23年度	最終達成	評価			備考		
	1	日际石(平区)	, , ,	20千段			20千段	(22年度)	町川川			畑か		
成果指標	57244	の目由盐啦老料。	目標値	0.4	30	30		30	李卍					
	留子生	の県内就職者数の	(人) 実績値 達成率	24	26 86, 7%	31 103. 3%		31 103.3%	達成					
	1-2 V=U	. 7	上水平		00.1/0	100.0/0		100.0/0						
	する必要性 [の視点	<u>:</u>] 検証結界	<u>.</u>	活動根拠						説明				
7尺皿	*^~ DEV!!!	1天 11年7日7	`	1月39/1八尺						的[5]				

検証の視点	検証結果	活動根拠	説明
国・市町村・民間団体と の役割分担を踏まえ、県 による実施が必要か	NPOとの 協働が可能	なし	在留資格にかかる諸問題を解決し、企業の即戦力となりうる人材を育成することにより留学生の県内企業への就職を促進するためには、県が積極的に実施する必要がある。

[実施方法の効率性]

検証の視点	検証結果	22年度までの主な効率化の取組状況	効率 物率	生指標	左の計算式
事業の簡素化、実施方法		・ビジネスマナー講座の開催をNPO法人大学コンソーシアムおおいたに委託	2 1 年度	22年度	総コスト
の見直し(業務の民間委	図っている (拡大困難)	・ビザ取得等相談窓口設置を専門家(行政書士)に委託	237	141	
託など)を図っているか	(カムノ、四天世)		千円/人	千円/人	成果指標の実績値

[総合評価]

方向性	廃止(22年度末)	方向性の判断理由 事業実施の効率化を図る目的で他の事業に整理統合したため
	・ビザ相談では、特定日の窓口相談から電話	、メールなどによる随時の相談に重点を移し、留学生がより相談しやすくなるよう措置(23年度は国際化推進事業に統合)
改善計画等		よるビジネスマナーの指導を実施し、企業が求める人材を育成するとともに、企業と留学生の交流フェアを実施予定(23年度は
改品則國子	用再生留学生連携促進事業に統合)	

事業名	海外戦略情報基(国際化推進事			事業期間	平成 22	年度~平成	22 年度	上位の対理当課・		地域を活性 国際政策課	化する国際な	交流の推進		
目的、現場	伏・課題]													
目的	対象県	略に基づき国際	展開を図る		- 現状・課題	経済・社会成長著しい	会のグロー <i>/</i> アジアの活 <i>/</i>	ベル化や国内の	の少子高齢 、本県の経	・人口減少社 済や地域の活	:会の到来を :性化を図る	見据えた、 ための全庁的	国内市場だけ	けではなく 各がない。
事業の実施	施状況]												(当	单位:千円
	活動名			活動内容			執行形態	事業主	<u></u> 体	コスト	20年度	21年度	22年度	23(予
	定に係る基礎調査				消費動向及	び県産品等	全部委託	県		総コスト			13, 846	
析			関する調査 立命館アジ		.					事業費			3, 846	
`~ ~									L	うち一般財源			3, 846	
海プロモー	ーション				アールスの実		直接実施	県	m.	人件費			10,000	<u> </u>
					量、市政府、 の夕べ)の開				期	战員数(人)			1.00	
事業の成身	果等]													
7 210 - 7902	現地リサーチを兼ね、上海万博の開催に合わせて県産品や観光の							指	標名(単位	.)	7 /14	の実績	7/L/11	目標
عاد م علاد	仕がけったい、フェ			美等の意見をヒアリングするとともに、庁内							21年度	2 2 年度	目標値	目標年
事業の成未し.	で海外戦略推進	プロジェクト会	議を開催し、	、海外事業の連携促進を図る大分県海			活動指標	海外戦略の策定 (件)				1	1	2 2
	外戦略を策定し	た。												
	指標名	(単位)	達成度	20年度	2 1 年度	2 2 年度	23年度	最終達成 (22年度)	評価			備考	l .	
成果指標			目標値			1 1								
以木 1日/示	海外戦略の	策定 (件)	実績値			1		1	達成			が同一なのは	は、海外戦略	の策定が
	THEY TOURS		達成率			100.0%		100.0%	X2.74X	的であるた	め。			
県が実施っ	する必要性]													
	の視点	検証結果		活動根拠						説明				
・市町村 役割分担を よる実施な	・民間団体とを踏まえ、県が必要か	県による 実施が必要		なし		県経済の ある。	活性化を図る	ることを目的	とし県内企	業を対象とす	る事業であ	ることから、	県による実	ミ施が必 要
実施方法の		<u> </u>				•								
検証	の視点	検証結果		2	22年度まで	の主な効率化	との取組状況	1		効率!	生指標		左の計算式	
	化、実施方法				遊調査・分析					20年度	22年度		総コスト	
	業務の民間委 図っているか	(拡大困難)	・「大分県の	タベ」開催急	会場の設営、	進行を上海で	市内の企画会	会社に委託			13,846 千円/件	成:	/ 果指標の実績	責値
総合評価]														
方向性	廃止(22年度)	1 /				海外戦略の								
	 99年度円際 	は、部局連携を	ツロ かがら	海外戦略に	基づく 施策す	・宝施(海外)	戦略総合対領	5 重業)						

事業名	APEC主要	会合開催推進事業		事業期間	平成 22	年度~平成	2 2 年度		施策名	地域を活性	化する国際な	 交流の推進		
	_							担当課・	局・室名	国際政策課				
[目的、現料	1					I								
目的	対象県民	、会合参加者			現状・課題		輸出や海外を	いらの観光客	の誘致を仮	足進するには、	大分県の認	知度向上がる	下可欠だが、	十分にで
ΗНЭ	意図 海外原	展開への機運を醸成し	ン、大分県の情 ^は	報発信を行う		ていない。								
事業の実施	施状況]												(単	单位:千円
	活動名			活動内容			執行形態	事業主	È体	コスト	20年度	21年度	22年度	23(予算
元主催事業	業		留学生による Д			紹介				総コスト			50, 843	<u> </u>
			ロコノミー出具					5	□ Wb m4s	事業費			16, 143	
			プションによる 著名な講師に。				負担金	APEC成: イレベル会		うち一般財源 人件費			6, 143	
			ロボス 古典明にる に業技術・物産				只担亚	実行委員会		職員数(人)			34, 700 3, 47	
			代表する温泉は			等の視察		大门女员五	Ľ	概貝数 (八)			5.41	
営支援事業	業		とを通訳ボラン			41 02 DE24								
事業の成績	果等]													
		業を通じ、県民の						指標名(単位		' †)	4 /14	り実績	FIX/1:3	目標
VIV		平洋地域に向けて	、大分県の観	光や食、産業	業などの地域	資源を効果	\	リレー講演会実施回数(回)		Ť	2 1 年度	22年度	目標値	目標年月
	的にPRする		活和效力活用	5躍し、地域の魅力を広く発信でき、今				リレー講演会 美施回数 (回) レセプション+エクスカーション実施回数 (回)			1		 	
	後のMICEの誘致に弾みがついた。							レセノション+コ	L ク ス カ 一 ショ	ノ 夫 胞 旦 叙 (回)		4		
	指標名	名(単位)	達成度	20年度	2 1 年度	2 2 年度	23年度	最終達成 評価				備考		
成果指標			目標値			500		500						
从人门口示	リレー講演会	会参加者数 (人)	実績値			666		666	達成					
	1,1,0		達成率			133. 2%		133. 2%						
県が実施っ	する必要性]													
	の視点	検証結果		活動根拠						説明				
	・民間団体と を踏まえ、県 が必要か	県による 実施が必要		なし						€業や観光等を ≰及び地元主催				
実施方法の	の効率性]	•				•								
	の視点	検証結果				の主な効率化	との取組状況			効率性	生指標		左の計算式	
業の簡素化	化、実施方法	図っていて	・開催地の別							20年度	22年度		総コスト	
	業務の民間委	図っている (拡大凩難)	· APEC会								76		/	
など)を	図っているか	(ルムノ、口当天世)	・通訳業務の	一部はおもっ	てなしとPR	を兼ねて地	元の留学生を	活用			千円/人	成	果指標の実績	責値
総合評価]					duttles arm. I	N/ /		La Mille and Desire St						
方向性	終了(22年	度末)		方向性の	判断理由	単年度の催	事に関する!	事業であるた	め					
善計画等														

事業名	留学生ふるさ (国際化推進	とライフ支援事業 事業)		事業期間	平成 17	年度~平成	年度	上位の 担当課・	施策名 局・室名	地域を活性	化する国際の	交流の推進		
[目的、現場	犬・課題]													
D 44	対象 県民	、外国人留学生			70.15 Am 07	多数の留	学生が県内に	こ在住し地域	住民と留学	生が交流を図	る機会が増	加している	が、留学生の)少ない地
目的	意図 交流	を促進し、相互理	1解の深化を図	る	現状・課題			とは言えない		<u> </u>	J. J.	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	, , , , , ,	J 011 1 L
[事業の実施													(肖	单位:千円)
	活動名			活動内容			執行形態	事業主	E体	コスト	20年度	21年度	22年度	
7学生ふるさ	さとライフ支援		援ホームペー			リー交流、	全部委託	県		総コスト	1,871	1,870	2, 488	2, 24
			物品の提供、							事業費	871	870	1, 488	1, 24
		安託先	: 大学コンソ	ーシアムおお	3いた					うち一般財源	871	870	1, 488	1, 24
									<u> </u>	人件費	1,000	1,000	1,000	1,00
									Į	職員数(人)	0. 10	0.10	0.10	0. 1
事業の成身	田 松门													
尹耒の成え	大守」								+ l= t - ()\(\)		事業の	の実績	最終	目標
								指	f標名 (単位	江)	2 1 年度	2 2 年度	目標値	目標年
事業の成果		交流により、県民			わせて県内に	在住する留	活動指標	ふるさとファミ	ミリーマッチン	/グ交流会(回)	2	2	2	2 5
	学生が安心し			地域と留学	生の交流事	業(回)		3	3	2 5				
					リユース物品	品提供成立	数(件)	45	29	50	2 5			
	指標名	名(単位)	達成度	20年度	2 1 年度	2 2 年度	23年度	最終達成 (年度)	評価			備考		
成果指標	> 7 + 1.5	こノつ土松本光	目標値	60	70	80	80							
		ライフ支援事業 学 生 数(人)	実績値	54	70	104			達成					
	沙 加 田	于 王 奴(八)	達成率	90.0%	100.0%	130.0%								
県が実施す	する必要性]													
	の視点	検証結果		活動根拠						説明				
	・民間団体と	NPOとの				直足と図	学生の交流は	※今を提供1	また 目	内在住の留学	生が安心し	て草らし	学べる瑨愔な	・敕借する
	を踏まえ、県	協働が可能		なし						ため、県によ			丁 12%元	・正畑ッツ
よる実施な	い必要か						., ,		.,.,,					
実施方法の														
	の視点	検証結果			22年度まで					効率性			左の計算式	!
	L、実施方法	図っている	・留学生支援	のノウハウ	を持つ大学コ	ンソーシア	ムおおいたに	こ業務委託		20年度	22年度		総コスト	
	業務の民間委 図っているか	(拡大困難)								35 	24 	4-,	田松梅の安久	主 <i>估</i>
										千円/人	千円/人		果指標の実績	貝但
[総合評価]														
方向性	現狀維持			★白州 σ	判断理由	大法ナがは	世ノ 旧 足 のっ	マンセゼド 人 チョ苗	ローション	かなま 一十十	ナカナナナ	必要があるフ	E- 14	

・市町村の教育委員会や国際交流担当課と連携して受入れ家族、リユース物品の提供数の増加を図り、地域と留学生の交流を促進

改善計画等

外移住尾海羊業	事業名	海外交流事業			事業期間	昭和 43	年度~平成	年度		施策名 局・室名	地域を活性 国際政策課	化する国際の	交流の推進		
1	[目的、現場	犬・課題]													
選区 県上の繋がりの総持、強化を図る 現外・素配型 分に構築されていない。	□ //	対象 海外県	具人会			~U U Am U~	海外県人	会は県民の泡	無外展開の拠	しり所となる	が、県人会を	・はじめとす	る本県関係を	者とのネット	ワークが-
議動名 孫動内容 孫動内容 孫動内容 孫動内容 表動大会への情報性と来来、日本を担立と会員への顕彰是中 直接報行 果 直接である。 「一部李託 」 当年度 2 2 年度 2 3 行 外移住港田東	目的	意図 県との)繋がりの維持、	強化を図る		現状・課題				27/7/2 04 0	7,7,7	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	3 1 7 1 1 J 1 J 1 J 1 J 1 J 1 J 1 J 1 J 1		, , ,
議動名 孫動内容 孫動内容 孫動内容 孫動内容 表動大会への情報性と来来、日本を担立と会員への顕彰是中 直接報行 果 直接である。 「一部李託 」 当年度 2 2 年度 2 3 行 外移住港田東	「事業の実施					<u> </u>								〔〕	色位: 千円)
外移住者否動推進率業費補助	2 7 7 7 7 7 7							執行形態	事業主	主体	コスト	20年度	21年度	2 2 年度	2 3 (予算
外移住者子弟研修事業								直接執行		·	総コスト	7, 356	9,039	5, 814	8, 154
条件化者子弟の体を実施 場外界人会との連携が図られるとともに、県出身海外移住者の子弟が日本の文 活動指標 指標名(単位) 事業の表別 2 2 年度 日標値 日曜年 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	F外移住者?	舌動推進事業費補			国際交流の推	έ進を図るた	めの海外県	直接補助	県		事業費	4, 356	6, 039	2,814	5, 154
番託先:民間ホテル 田標教 (人) 0.30 0.30 0.30 0.30 0.30 0.30 0.30 0.3												,			445
事業の成果等] 海外県人会との連携が図られるとともに、県出身海外移住者の子弟が日本の文	F外移住者-	子弟研修事業			県内での研修	を実施		一部委託	- 県			,	,		3,000
指標名(単位) 事業の実績 最終目標 最終目標 日標年 (単位) 事業の実績 最終目標 日標年 (単位) 事業の実績 最終目標 日標年 (本序) 日本の文 (ま存) 日本の文			委託先	: 民間ホアル						月	戦員数(人)	0. 30	0.30	0.30	0. 30
指標名(単位) 事業の実績 最終目標 最終目標 日標年 (単位) 事業の実績 最終目標 日標年 (単位) 事業の実績 最終目標 日標年 (本序) 日本の文 (ま存) 日本の文															
海外県人会との連携が図られるとともに、県田身海外移住者の子弟が日本の文化等についての理解を深め、県民と交流することができた。 「活動指標 海外移住者の子弟が日本の文 活動指標 海外移住者の子弟が日本の文 活動指標 海外移住者の子弟が日本の文 活動指標 海外移住者子弟研修者数(人) 2 2 2 2 2 5 2 5 2 5 2 5 2 5 2 5 5	[事業の成身	果等]													
漢外県人会との連携が図られるとともに、県出身海外移住者の子弟が日本の文化等についての理解を深め、県民と交流することができた。 活動指標 海外移住者子弟が修者数(人) 2 2 2 2 2 2 5									指	f標名 (単位	<u>r</u>)	4 /14			
作等についての理解を深め、県民と交流することができた。	日米の七田	海外県人会と	の連携が図られ	しるとともに、	県出身海外港	移住者の子弟	が日本の文	江北州	海 从 较 仕 耂	7. 治瓜攸耂	1 30				
指標名(単位) 達成度 2 0 年度 2 1 年度 2 2 年度 2 3 年度 (年度) 評価 (備考) 日標値 20 20 20 20 達成 達成 達成 接成 接成 接成 接成 接成	事業の成果					ことができた。									
現場には、									/k/	以中/ 白 XX (/)	()	12	11	0	2 0
世界 世界 世界 世界 世界 世界 世界 世界		指標名	(単位)	達成度	20年度	2 1 年度	22年度	23年度		評価			備考	<u> </u>	
海外大分県人会数(団体) 実績値 19 20 20 達成 東が実施する必要性] 検証の視点 検証結果 活動根拠 説明 ・市町村・民間団体と役割分担を踏まえ、県よる支施が必要か 県による実施が必要か なし 海外県人会と県との人的なネットワークの維持、発展に取り組む団体は他にないことから、県による実施の表し、実施が必要である。 実施方法の効率性] 検証結果 2 2年度までの主な効率化の取組状況 効率性指標 左の計算式 業の商業化、実施方法見直し(業務の民間委など)を図っているか 図れない(見直し困難) (見直し困難) 2 2年度 総コスト(見直し困難) 総合評価] 方向性 見直し(2 3年度)事業内容の縮小 方向性の判断理由 県高齢者施策と同等の内容とする・現内高齢者への祝品贈与に合わせ、米寿のみ顕彰 方向性の判断理由 県高齢者施策と同等の内容とする・現内高齢者への祝品贈与に合わせ、米寿のみ顕彰	成里指煙			目標値	20	20	20	20	(平度)						
達成率 95.0% 100.0% 100.0% 100.0%	从不1日/示	海外大分県ノ	(会数(団体)							達成					
検証の視点 検証結果 活動根拠 説明 説明 注意が必要					95.0%	100.0%	100.0%			,,,					
・市町村・民間団体と 役割分担を踏まえ、県 よる実施が必要か 県による 実施が必要である。 海外県人会と県との人的なネットワークの維持、発展に取り組む団体は他にないことから、県による実施が必要である。 実施方法の効率性] 検証結果 食証結果 2 2年度までの主な効率化の取組状況 効率性指標 左の計算式 業の簡素化、実施方法 見直し(業務の民間委など)を図っているか など)を図っているか 図れない 見直し(業務の民間委など)を図っているか 図れない 見直し困難) 日本の表別 本の表別 本の表別 本の表別 総合評価 月の高齢者への祝品贈与に合わせ、米寿のみ顕彰 方向性の判断理由 県高齢者施策と同等の内容とする 場高齢者施策と同等の内容とする															
役割分担を踏まえ、県 よる実施が必要か 県による 実施が必要 なし 海外県人会と県との人的なネットリークの維持、発展に取り組む団体は他にないことから、県による実 が必要である。 実施方法の効率性] 検証の視点 検証結果 22年度までの主な効率化の取組状況 効率性指標 左の計算式 業の簡素化、実施方法 見直し(業務の民間委 など)を図っているか 図れない (見直し困難) 図れない (見直し困難) (見直し困難) が出む団体は他にないことから、県による実 が必要である。 本の計算式 387 291 検コスト (見直し困難) 人 成果指標の実績値 総合評価] 方向性の判断理由 県高齢者施策と同等の内容とする ・県内高齢者への祝品贈与に合わせ、米寿のみ顕彰 方向性の判断理由 県高齢者施策と同等の内容とする			検証結果		活動根拠						説明				
実施方法の効率性] 検証の視点 検証結果 2 2 年度までの主な効率化の取組状況 効率性指標 左の計算式 業の簡素化、実施方法・見直し(業務の民間委など)を図っているか 図れない(見直し困難) 2 2 年度 総コスト・フリー・フリー・フリー・フリー・フリー・フリー・フリー・フリー・フリー・フリー	つ役割分担を	を踏まえ、県			なし				人的なネット	ワークの維	持、発展に取	り組む団体	は他にないこ	ことから、県	による実績
業の簡素化、実施方法 見直し (業務の民間委 など) を図っているか 図れない (見直し困難) 20年度 22年度 387 291 / 千円/団体 千円/団体 千円/団体 代円/団体 成果指標の実績値 総合評価] 方向性 見直し (23年度) 事業内容の縮小 方向性の判断理由 県高齢者施策と同等の内容とする ・県内高齢者への祝品贈与に合わせ、米寿のみ顕彰 財際理由 県高齢者施策と同等の内容とする															
見直し (業務の民間委など) を図っているか 387 291 (大田/団体) (見直し困難) 千円/団体 千円/団体 千円/団体 成果指標の実績値 総合評価] 方向性 見直し (2.3 年度) 事業内容の縮小		.,	検証結果		2	22年度まで	の主な効率化	との取組状況			効率性	生指標		左の計算式	
千円/団体 千円/団体 千円/団体 千円/団体 成果指標の実績値 総合評価] 方向性 見直し (23年度)事業内容の縮小 方向性の判断理由 県高齢者施策と同等の内容とする ・県内高齢者への祝品贈与に合わせ、米寿のみ顕彰	の見直し(美	業務の民間委									387	291		/	
方向性 見直し(23年度)事業内容の縮小											千円/団体	千円/団体	成	果指標の実績	責値
・県内高齢者への祝品贈与に合わせ、米寿のみ顕彰			i 由 要 由 索 σ	、 な ル	士白州の	小小杉油中	古舩老坛	生し 日生の	力宏します						
	刀門生	7	247 4 714: TH	THE T	7 7 7 7 1	'刊例'理田		界と 門寺の	刊谷とりる						
	改善計画等	处1.11回1图1.月.		ロッセ、ハガツ	· · / · 斯公 平/										